

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市ブランド創造局観光にぎわい部観光課 都市整備局河川公園部公園管理課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	① 小倉城（しろテラス含む） ② 小倉城庭園 ③ 北九州市立勝山公園 ④ 北九州市立あさの汐風公園	施設類型	目的・機能
	所 在 地	① 北九州市小倉北区城内2番1号 ② 北九州市小倉北区城内1番2号 ③ 北九州市小倉北区城内1番ほか ④ 北九州市小倉北区浅野三丁目3番から6番	I	— ①②③
	設置目的	① 歴史的な展示や体験施設を備え、祭り・諸行事の実施を通して、市民や観光客を誘致し、健全な憩いの場を提供する観光施設 ② 日本の伝統文化に関する展示等を通じ、市民や観光客に文化の薫り高い場を提供する観光施設 ③ 都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園。 ④ 主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図ることを目的とする公園。		
利用料金制		④ ☐ 非利用料金制 ・ ①②③ ☐ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ ☐ 無	ペナルティ制 有・ ☐ 無	
指定管理者	名 称	TEAM城下町小倉共同事業体		
	所 在 地	小倉北区京町二丁目2番19号3階		
指定管理業務の内容		① 小倉城、② 小倉城庭園 ・ 施設運営業務（受付業務、貸室業務、案内、情報提供業務等） ・ 施設管理業務（保守管理業務、清掃業務、警備業務等） ・ 事業に関する業務（展示、催事やイベント業務、広報業務等） ・ その他管理運営に関する業務（事業計画書・業務報告書提出等） ③ 北九州市立勝山公園、④ 北九州市立あさの汐風公園 ・ 施設運営業務（花壇管理業務、駐車場運営業務、警備業務等） ・ 維持管理業務（植物管理業務、清掃業務、維持管理業務等） ・ その他管理運営に関する業務（事業計画書・業務報告書提出等） ・ 賑わいづくり業務 ・ 災害時対応（災害・事故発生時の迅速な対応、事故防止の取組等）		
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レ ベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		47
(1) 施設の設置目的の達成 ① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。 ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。 ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。 ④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	35	5	35
[評価の理由、要因・原因分析] 【小倉城及び小倉城庭園】 ①② 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中での指定期間の開始となったが、市の需要喚起策やインバウンドの回復に加え、指定管理者においては、「小倉お城まつり」などの定例イベントに加え、「サマライウィーク」「小倉城 お濠カヌー」「冬のライトアップ カラフルナイト」など、施設の歴史性や立地特性、季節性を活かした集客施策を展開し、施設の利用促進に取り組んだ。 令和5年度は、国内外の観光需要が回復する中、「兜かぶり体験」「小倉城ド派手新成人なりきりイベント」「小倉城武将隊」、天守閣5階を活用したカフェ・バーなど、体験施設を備えた観光施設としての特色を活かした取組を行った。小倉城庭園では、「日本刀の美」などの企画展や「アフタヌーンティー」を実施し、歴史的な展示や伝統文化を体感できる機会の創出に努めた。 令和6年度は、小倉城再建65周年を記念した「小倉城サイコー!!キャンペーン」を中心に、「多言語音声ガイドシステム」「寿司&キャッスル」「小倉城ドラママッピング」「小倉城幻想絵巻」などを実施し、利便性向上、夜間の魅力創出、施設の新たな活用に取り組んだ。小倉城庭園では、「小倉祇園太鼓展」「アフタヌーンティー」に加え、予約なしでカジュアルに和の雰囲気を楽しむ「甘味処」を新たに設けるなど、地域文化や庭園空間を活かした滞在型・体験型の企画を実施した。 令和7年度は、小倉城来場者累計1,000万人達成式典や「城主パスポート」の発行、「小倉城VRコンテンツ」などにより、節目を活かした話題づくりと歴史体験の充実を図った。小倉城庭園では、「表千家同門会全国大会」「茶道体験」「レーザーライトアップショー」などにより、和の文化体験と夜間の滞在コンテンツを充実させ、昼夜を通じた利用促進に取り組んだ。			

この結果、各年度、指定管理者が掲げる数値目標を超える入場者数となった。

- ③④ 小倉城及び小倉城庭園については、2施設共通券の発行や一体的な企画展開により、連携した利用促進を図っている。また、両施設が勝山公園内に位置していることから、各イベントが相互に来訪動機を高め、周辺エリアの賑わい創出につながっている。営業・広報活動についても、公式ホームページ、SNS、プレスリリース等を活用した積極的な情報発信により、施設認知度の向上と来場促進に寄与している。

【小倉城】

(単位：人)

利用者数	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
要求水準	209,000	185,000	185,000	185,000	185,000
目標値	250,000	200,000	230,000	250,000	300,000
実績	【178,960】 117,199	204,278	258,747	295,799	352,497

※ ・・・評価対象年度

※ R3年度は新型コロナウイルス感染拡大のための休館（計95日間）

※ 【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR元年度実績に置換した利用者数

【小倉城庭園】

(単位：人)

利用者数	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
要求水準	23,000	70,000	70,000	70,000	70,000
目標値	31,000	(72,500) 80,000	100,000	120,000	150,000
実績	【44,836】 25,415	79,593	107,463	132,532	188,600

※ ・・・評価対象年度

※ ()内は、R4年4月1日～21日の休館を考慮した目標値

※ R3年度は新型コロナウイルス感染拡大のための休館（計95日間）

※ 【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR元年度実績に置換した入場者数

※ R3年度は空調改修工事等による休館（計124日間）

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ①② 維持管理や施設運営については、植栽の目的や公園機能により、管理区域、管理基準を設定し、年単位の管理行程計画を策定のうえ、計画どおりに適正に実施している。計画の策定にあたっては、安全・防犯対策や事故防止を考慮し、樹木の高さや植栽密度を決定するなど、それぞれの目的に沿った管理運営を行っており、北九州市のシンボル公園（勝山公園）及び小倉駅新幹線口の回遊拠点（あさの汐風公園）としての適切な維持管理水準を保っている。特に令和7年度は「樹木の老朽化（空洞化・腐朽）」の対応を強化し、倒木未然防止のため約10本の高木伐採を行うなど、安全確保に万全を期した。あさの汐風公園では、スパイク利用による芝生の傷みに対し、コア抜き・目

土・施肥による再生作業を継続した結果、約 80%程度の芝生再生を確認し、良好な景観を維持している。

グリーンエコハウス内の管理事務所に、公園全体の統括担当者を配置し、管理運営を行っている。また、グリーンエコハウスに隣接する場所に作業用倉庫を設置し、迅速な管理運営が行える常駐管理体制を整えている。

高木や生垣などの高度な植物管理業務については、専門的な技術を有する専従スタッフにより、景観に配慮した剪定や利用状況に応じた除草を行うとともに、勝山公園とあさの汐風公園での大型イベント開催の際は、事前に草刈りを行うなど計画的に適正な管理作業を行っている。

巡回清掃業務については、毎日継続的に行うことに加え、桜のシーズンやイベント開催時、お盆、年末年始など公園利用が増える時期には、作業員を増やして対応している。また、雨季に備えての排水溝清掃など、季節や状況に応じて適宜実施している。

- ③ 小倉城、小倉城庭園を含む勝山公園一帯で集客イベントを行うなど、シンボル公園に相応しい賑わいづくりに積極的に取り組んだ。令和6年度からの「昭和夏まつり」に加え、令和7年度は「Fire Halloween Night」や「HARLEY DAVIDSON BLUE SKY MEETING」など新規イベントを成功させ、幅広い層の来園を促した。結果、指定期間を通じて市の要求水準である「勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上」を大幅に上回った。また、最新技術を用いたARギャラリーを勝山・あさの汐風公園内に設置し、今後の集客力強化を図るため、小倉駅南北エリアの回遊性を調査していることも評価できる。

- ④ 広報活動では、ホームページで施設情報やガイドマップ、公園利用のルール、イベント情報等を掲載するなどの積極的な情報発信を行った。

【勝山公園イベント開催率】

(単位：%)

	R 7年度												
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
実績	55	82	55	44	64	90	100	100	38	27	30	50	61

※令和7年度は、ARギャラリーを含まない開催率を表記した。

(単位：%)

	R 6年度												
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	100	100	80	100	100	80	100	100	80	75	75	80	83
実績	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※令和6年3月にARギャラリーを導入したことにより、100%の開催率を実現した。

(単位：％)

	R 5年度												
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	100	100	75	80	75	80	100	100	75	50	75	80	71
実績	90	91	75	73	89	80	100	100	80	70	60	100	84

(単位：％)

	R 4年度												
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	80	80	75	60	75	75	80	75	60	40	75	75	71
実績	90	100	50	91	100	80	73	90	44	36	89	100	79

※ ・・・評価対象年度

【ARギャラリーの利用状況】

(単位：回)

	R 7年度												
アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	965	1022	645	678	436	627	681	919	466	698	751	700	8588

※ ・・・評価対象年度

(2) 利用者の満足度

- | | | | |
|--|-----|---|-----|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | 1 5 | 4 | 1 2 |
| ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 | | | |
| ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | | | |
| ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 | | | |
| ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。 | | | |

【評価の理由、要因・原因分析】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 利用者アンケートにおける施設満足度は、指定期間を通じて安定して高い水準で推移しており、施設利用者の満足は十分に得られていると評価できる。また、アテンダントの対応についても高い評価を得ており、受付・案内等の基本的な利用者サービスが適切に提供されている。

- ② 利用者の意見については、アンケートや問い合わせフォーム等を通じて把握し、事業者内で共有する体制を整えている。把握した意見については、対応可能なものからサービス改善に反映しており、利用者ニーズを踏まえた施設運営に努めている。
- ③ 利用者からの苦情や問い合わせについては、スタッフ間で情報共有を行い、必要に応じて関係部署とも連携しながら、正確かつ丁寧な対応に努めている。また、寄せられた意見を業務改善に活用することで、安心して利用できる環境づくりに取り組んでいる。
- ④ 利用者への情報提供については、小倉城公式ホームページやSNSを活用し、開館情報、イベント情報、利用案内等を随時発信している。特に、公式ホームページのリニューアルやInstagramを中心としたSNSでの発信により、速報性のある情報提供と利用者の利便性向上に努めている。
- ⑤ サービスの質の維持・向上に向けて、遠方からの来場者の取り込みや利用者の利便性向上を目的に、開館時間の2時間延長を継続して実施している。また、小倉城武将隊による演劇やグリーンティング、地域の歴史教育に資する取組などを通じて、観光施設としての魅力とおもてなしの質の向上を図っている。

【小倉城及び小倉城庭園】

【利用者アンケート（施設を見学しての感想について）】

満足度	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	90.0	85.0	88.0	90.0	93.0
実績	79.2	86.2	96.0	98.9	99.0

目標値「非常に満足」「満足」の合計値

※ ・・・評価対象年度

【利用者アンケート（アテンダントの対応について）】

満足度	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	84.5	85.0	88.0	90.0	93.0
実績	84.9	83.9	91.3	99.0	98.6

目標値「非常に満足」「満足」の合計値

※ ・・・評価対象年度

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 利用者アンケートの結果、管理状況に対する満足度は極めて高い水準を維持している。利用者からの要望を的確に捉え、市に要望し「ベンチ・テーブル」の設置をした。グリーンエコハウスについても、「赤ちゃんの駅（授乳室・おむつ替え）」のPRや冬期の「小倉イルミネーション」に合わせた装飾、地域貢献としてのボランティア活動の支援などニーズを的確に捉え付加価値の向上に努め、「認知度」及び「満足度」が向上しており、多くの市民に活用されている。
- ②③ 公式ホームページに意見箱を開設し、積極的に利用者意見等の収集に努めており、意見・要望・苦情等は、共同事業体の構成団体内で情報共有のうえ、毎月の会議で協

議を行い可能な範囲で業務改善に努めた。

- ④ 公式ホームページで施設情報やガイドマップ、公園利用のルール・マナー、イベント情報など積極的に更新することにより、タイムリーな情報の発信を行っている。
- ⑤ あさの汐風公園と勝山公園子ども広場でのARギャラリー（QRコード読み取りにより恐竜が出現し、写真や動画撮影も楽しめる）の設置など、利用者を楽しませる工夫がみられた。

【満足度アンケート（公園の管理状況）】（単位：％）

【勝山公園・あさの汐風公園アンケート（公園の管理状況）】

（単位：％）

満足度	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	95.0	85.0	88.0	90.0	95.0
実績	91.9	93.8	92.2	88.8	93.0

※ ・・・評価対象年度

2 効率性の向上等に関する取組み

30

20

（１）経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

20

3

12

【評価の理由、要因・原因分析】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 小倉城・小倉城庭園の指定管理料は、昨今の物価上昇や人件費の高騰の中においても、効率的な運営に努めた結果、提案時の予算額内で適切に執行している。
- ② 仕様書に基づき、効率的かつ適切な点検・処置が可能な地元企業を優先的に選定し、維持管理を実施している。
- ③ 環境保護（節電・節水など）やコスト削減（A I の活用や印刷物の電子化（パンフレット・チラシなど））を意識しながら来場者が満足できるイベントを展開するなど効果的・効率的な執行がなされている。

【小倉城】

（単位：千円）

指定管理料	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	13,951	47,500	37,000	34,000	30,000
決算	54,481	60,016	39,067	34,000	30,000

総事業費	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	105,350	147,384	147,054	135,683	119,432

決算	95,039	139,458	190,590	126,859	124,093
----	--------	---------	---------	---------	---------

うち光熱水費	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	7,000	6,900	7,300	7,500	8,800
決算	4,403	6,985	7,166	8,514	8,123

※ ・・・評価対象年度

※ R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館（計95日間）

※ R4・R5年度の指定管理料の決算額は、施設の管理運営上の追加対応及び市の施策等への対応に係る経費を含む。

※ 総事業費は、収支決算書の区分に合わせ、R4・R5自主事業を含む全体額、R6・R7は指定管理事業のみを計上。

【小倉城庭園】

（単位：千円）

指定管理料	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	34,755	32,000	27,000	24,000	20,000
決算	42,369	33,134	27,000	24,000	20,000

総事業費	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	40,779	71,350	69,557	59,859	62,388
決算	58,384	56,922	65,444	52,787	62,795

うち光熱水費	【参考】R3年度（更新前）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	2,000	3,080	3,150	3,220	2,800
決算	2,736	2,329	2,921	2,810	2,970

※ ・・・評価対象年度

※ R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館（計95日間）

※ R3年度は空調改修工事等による休館（計146日）

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 電気に関しては、窓への遮光ロールカーテンの設置や戸外へのよしずの設置、打ち水など、グリーンエコハウス内の適正な温度調整を図った。また、事務所内は扇風機を使用するなど節電に努めた。
水道に関しては、巡回の際にトイレ等の漏水や蛇口の締め忘れなどの点検を行い、漏水等の早期発見に努め、自動灌水装置の使用にあたっては、設定時間の変更や水圧の調整など細やかな対応を行った。
- ② 設備の保守点検を除き再委託は行わず、マルチタスク化を推進するとともに、シングルを充実させ、人件費の効率化と作業精度の向上を両立させた。

- ③ 公園の安全と景観を維持する施設管理費とイベント開催経費等をバランスよく執行することにより、市民の憩いの場の提供と賑わいづくりを実現し、施設の設置目的に沿った経費の効果的・効率的な執行がなされた。

【勝山公園・あさの汐風公園】

(単位：千円)

指定管理料	【参考】3年度(更新前)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	58,431	48,000	48,000	49,000	48,000
決算	58,431	48,000	48,000	49,000	48,000
総事業費	【参考】3年度(更新前)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算	78,725	73,440	73,558	70,463	70,096
決算	74,489	76,095	73,413	75,109	73,284

※ ・・・評価対象年度

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

10

4

8

【評価の理由、要因・原因分析】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 指定管理期間を通じて、小倉城・小倉城庭園は、継続的な企画力と積極的な集客施策により、来場者数・収益ともに着実な成長を実現したと評価できる。

初年度である令和4年度は、利用者数は目標値を上回ったものの、「お出かけ応援プレミアムサマー」期間中の利用者について、利用料補填の上限額が定められていたため、補填上限を超える利用者分が収益につながらず、利用料収入は目標値を下回った。

令和5年度以降は、新規イベントの企画や既存イベント内容の継続的な改善、SNS等を活用した広報強化により、利用者数および利用料収入は大きく増加した。

令和6年度、令和7年度については、小倉城・小倉城庭園ともに過去最高水準の利用者数を記録し、施設全体の収益性は大きく向上した。天守閣カフェ事業やUV事業、小倉城庭園でのアフタヌーンティーや文化講座など、地域資源や伝統文化を活用した高付加価値コンテンツの創出にも積極的に取り組み、施設の魅力向上と地域経済への波及効果の両立を実現している。

総じて、本指定管理期間においては、指定管理者による柔軟かつ積極的な運営努力により、集客力・収益力・施設魅力のいずれも大きく向上した。単なる観光施設運営にとどまらず、地域文化の発信拠点としての機能強化や地域経済への貢献も認められ、指定管理者として高く評価できる。

【小倉城】

(単位：千円)

収 入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用料金収入	予算	62,250	55,385	63,702	69,225	83,077
	決算	【46,618】 29,828	48,179	71,240	82,377	86,670

※ ……評価対象年度

※ 内は、新型コロナ休館期間中について R1 年度実績に置換した入場料

【小倉城庭園】

収 入		【参考】R3 年度（更新前）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用料金収入	予算	8,489	20,656	25,820	30,984	38,730
	決算	【12,396】 7,616	17,985	26,168	30,680	36,785

※ ……評価対象年度

※ 内は、新型コロナ休館期間中について R1 年度実績に置換した入場料

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 多くの集客が見込めるイベント等を積極的に開催することで駐車場の利用増加を図るとともに、自主事業においては、自動販売機の新設や購入しやすい設置方法の工夫など、収入増加に取り組んでいる。

利用料金収入（駐車場収入）は、積極的なイベント開催により、年々増加傾向にある。令和7年度の落ち込みは、北九州ソレイユホールの休館（令和7年4月1日）の影響によるものと推測される。

自主事業収入（主に自動販売機収入）も年々売り上げを伸ばし、維持管理経費等に充ててことで施設の管理運営に貢献している。

【勝山公園・あさの汐風公園】

（単位：千円）

収 入		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
利用料金収入	予算	19,250	19,580	18,100	18,100
	決算	17,646	18,314	19,127	16,472
自主事業収入	予算	6,265	7,375	8,270	9,150
	決算	4,961	7,307	8,445	9,818

※ R7 年度の利用料金収入（駐車場収入）の大幅減は、R7 年4月、北九州ソレイユホール休館の影響によるものと推測

※ ……評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

20

16

（1）施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

10

4

8

【評価の理由、要因・原因分析】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 人員の配置については、小倉城及び小倉城庭園の一体的な管理により、受付・案内業務、貸室対応、館内誘導等に過不足が生じないように、各施設間で柔軟な人員配置を実施した。また、繁忙時や団体対応、外国人観光客への対応が必要な場合には、職員のスキルや経験を踏まえて適宜配置を調整するなど、効率的な運営体制を構築し、円滑なかつ安定的な施設運営が図られた。
- ② 職員の資質向上に向け、「おもてなし研修」や「リーダー研修」、「インバウンド対応研修」を継続的に実施するとともに、「動画講座」の導入により、繰り返し学習できる環境を整備した。これにより、接客力や専門知識の向上が図られ、質の高い施設運営につながっている。
- ③ 地域や関係団体との連携については、指定管理者交代当初は地域団体との調整に苦慮する場面も見られたが、「小倉城桜まつり」「小倉お城まつり」「小倉城おしるこ会」などの運営を重ねる中で信頼関係を構築し、現在では良好な協力体制が形成されている。また、他団体と連携したイベントを展開し、多くの利用者獲得につなげた。
さらに、小倉城庭園では、茶道協会や文化団体に加え、小倉商業高校、折尾高校、西日本工業大学、北九州市民カレッジ等との連携により、講座や授業、茶会等を実施し、文化振興や次世代育成にも寄与している。北九州市外の文化団体との交流も進め、広域的な文化・観光ネットワークの強化が図られた。

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ② グリーンエコハウス内管理事務所に、園長、副園長の2名配置のほか、維持管理技術スタッフ8名がローテーションで公園内の維持管理の作業を行うことにより、イベント後の清掃や大雨、強風による枝折れの撤去や側溝清掃等、緊急事案により迅速に対応できる体制で運営を行った。R7年度は桜の花見の時期に「ゴミ持ち帰り」啓発を強化し、清掃コストの抑制とマナー向上を図った。
- ② 管理事務所スタッフの資質、能力向上を図るため、セミナーや研修を積極的に受講させるとともに、専門家による接遇研修会への受講促進により、公園利用者に適正に対応できるよう努めた。また、共同事業体の教育システムを活用した研修も行っている。維持管理技術スタッフは、必要な資格取得に加え、重機の使用法やメンテナンス、保守点検等について、定期的に講習を行っており、技術の向上に努めている。
- ③ 月3回の活動日を設定しての市民企画花壇「うえるっちゃ！花壇」の運営や夏休み期間中のグリーンエコハウス前でラジオ体操の実施、就労継続支援B型事業所「王漣」「えん」との共同企画として、ごみ拾いや清掃、草刈り等の活動を月2回定期的に行い、地域コミュニティの核としての役割を果たしている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	4	8
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由、要因・原因分析】 【小倉城及び小倉城庭園】 ① 個人情報の管理については、アンケート用紙やイベント参加者情報等について、不要なものは速やかにシュレッダー処理を行い、保管が必要なものについては施錠管理を徹底するなど、適切な管理体制が維持されていた。 ② 施設運営については、各施設とも管理運営要綱に基づき適正に実施されており、日常的に職員・スタッフが高い安全意識を持ちながら、子ども連れや高齢者への配慮を行うなど、事故防止対策に継続して取り組んだ。また、小倉城では、車椅子利用者や足の不自由な利用者に対し、天守閣まで車で送迎できる受入体制を整備するなど、ユニバーサルな施設運営にも努めている。 新型コロナウイルス感染症対策期間中においても、マスク着用やアルコール消毒の徹底、不特定多数が接触する箇所の定期消毒など、感染防止対策を適切に実施し、安全・安心な利用環境の確保に努めた。 ④ 収支管理については、継続的なモニタリングを実施し、不適切な処理等がないことを確認するなど、適正な財務管理が行われていた。 ⑤⑥ 防犯・防災対策については、緊急連絡網及び緊急対応マニュアルを整備するとともに、防火・避難訓練を定期的に行い、災害時や緊急時への対応体制を確保した。また、台風や気象情報等を常時把握し、非常時に備えた準備や安全確認を継続的に行うなど、危機管理意識を持った運営が実施されている。 ⑦ これらの取組により対象期間を通じて特に大きな事故や災害等の発生はなく、安全かつ安定した施設運営が継続して行われた。 【勝山公園及びあさの汐風公園】 ① イベントや講座への参加者の個人情報については、保管する必要がないものは業務終了後速やかにシュレッダー処理を行ったり、保管が必要なものは、施錠して保管したりするなどの適正な方法で管理されている。 ② 施設の利用については、施設の管理運営要綱に即して適正に運営されている。 安全対策については、スタッフが常に安全意識を持って、子ども連れや高齢者に注意するといった日常の事故防止対策を行うなど、適切に実施されている。 ④ 収支の内容についてはモニタリングを行うことで、不適切な点がないことを確認している。			

- ⑤⑥ 防犯、防災対策については、緊急連絡網及び緊急対応マニュアルが作成されている。日常の管理及び対策として防火・避難訓練を実施している。常に台風・気象情報等を把握するなどして、非常時への準備が適切にとられている。
- ⑦ 特に大きな事故及び災害等の発生はなかった。

【総合評価】

合計得点	83	評価ランク	A
〔評価の理由〕 指定管理期間を通じて、小倉城及び小倉城庭園では、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復過程において、施設運営の安定化と積極的な賑わい創出に取り組み、利用者数の大幅な増加と観光拠点としての魅力向上を実現したことは高く評価できる。 1年目となる令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残る中での運営となったが、休館措置を伴う大きな制限はなく、年度後半には「福岡コロナ警報」の解除やインバウンド需要の回復もあり、徐々にコロナ禍以前の状況へ回復した。こうした中、「小倉お城まつり」「小倉城桜まつり」などの既存イベントに加え、「サマライウィーク」「小倉城 お濠カヌー」「冬のライトアップ カラフルナイト」など新たな企画を積極的に展開し、小倉城周辺及び勝山公園・あさの汐風公園の賑わい創出に寄与するとともに、小倉城及び小倉城庭園ともに目標入場者数を達成した。 2年目の令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更に伴い、観光需要及びインバウンドが本格的に回復する中、小倉城及び小倉城庭園ともに目標値を上回る来場者数を達成した。特に小倉城では、天守閣再建以来63年ぶりとなる25万人超の来場者数を記録し、施設の魅力向上と効果的な集客施策の成果が顕著に表れた。「兜かぶり体験」や「小倉城ド派手新成人なりきりイベント」など、新たな体験型イベントにも積極的に取り組み、幅広い世代への訴求と地域の賑わいづくりにつなげたことは高く評価できる。 3年目の令和6年度は、小倉城・小倉城庭園ともに高い来場者数を達成し、小倉城では再建直後を除き過去最高となる約30万人、小倉城庭園では開園以来最高となる約13万人を記録した。これは、継続的なイベント展開や広報活動、インバウンド需要の取り込みに加え、小倉城天守閣再建65周年記念「小倉城サイコー!!キャンペーン」など、話題性の高い企画を効果的に実施した成果であり、観光拠点としての認知度向上に大きく貢献したものと評価できる。また、小倉城庭園においても、日本文化や庭園空間の魅力を活かした新たな滞在型コンテンツの充実にも積極的に取り組んだ。「アフタヌーンティー」や「甘味処」など、庭園の静謐な雰囲気と調和した企画を実施したことで、従来の歴史・文化鑑賞に加え、“過ごす観光”としての新たな価値を創出した点は評価できる。特に、和の空間を活用した飲食体験は、若年層や女性層、インバウンド来場者からの関心も高く、滞在時間の延長や満足度向上、リピーター獲得にも寄与したものと考えられる。さらに、庭園文化への親しみや日本文化体験の深化にもつながっており、小倉城庭園の魅力向上に資する取組として高く評価できる。 4年目となる令和7年度は、小倉城利用者数約35万人（目標30万人に対し約5万人増、達成率117%）、小倉城庭園利用者数約19万人（目標15万人に対し約4万人増、達成率126%）を達成し、いずれも過去最多を更新した。これは当初令和8年度に掲げていた目標値を前倒して達成するものであり、5カ年計画における成果を4年目時点で実現したこと			

は高く評価できる。特に小倉城は再建直後を除き過去最高を更新、小倉城庭園も前年の開園以来過去最高を更新しており、集客面で大きな飛躍を遂げた。

さらに、指定管理者が掲げる「伝統と革新が織りなす驚きと発見のエンターテインメントエリア」の実現に向け、令和6年度から継続する天守閣再建65周年記念「小倉城サイコー!!キャンペーン」を軸とした各種事業を展開し、城郭研究に精通した専門家を招聘した特別講演会を開催するなど、歴史・文化的価値を学術的観点から発信したことは、市民のシビックプライド醸成にも大きく寄与したものと評価できる。加えて、「小倉城竹あかり」をはじめとする地域団体や民間企業との連携も着実に深化しており、小倉城を起点とした面的な観光誘客や地域活性化の取組が進展している。指定管理者が掲げる「城下町小倉を日本有数の観光エリアにする」というビジョンのもと、小倉地区の観光地としての認知度向上にも大きく貢献した。

一方で、利用者数の大幅な増加に伴い、休日を中心とした混雑対策や回遊性向上、多言語対応を含むインバウンド受入環境のさらなる充実、安全対策及び情報発信機能の強化など、新たな課題への対応も求められている。今後は、利用者満足度のさらなる向上と持続可能な観光運営の両立を図りながら、北九州市を代表する観光拠点として、地域経済への波及効果を一層高めていくことが期待される。

総じて、指定管理期間4年間において、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、積極的な自主事業の展開、地域連携、効果的な情報発信を通じて、施設の魅力向上及び利用者数の大幅な増加を実現したことは、指定管理者の高い企画力と運営努力、創意工夫による成果として極めて高く評価できる。

【勝山公園及びあさの汐風公園】

勝山公園・あさの汐風公園については、指定期間を通じて、北九州市のシンボル公園として質の高い管理運営を継続した。

特に樹木の健全度調査と迅速な伐採対応、芝生の戦略的な再生といったインフラ維持管理面での貢献が大きい。

賑わいづくり事業については、新たなイベントを企画・提案するなど積極的に取り組み、勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率は要求水準（40%）を大きく上回っており、シンボル公園としての役割を十分に果たしていると考ええる。中でも、「カーブーツ」や「北九州GRANDMARKET」、「北九州パン祭り&キャッスルパーク」は定着したイベントとして多くの参加者が来園し、中心市街地の活性化に大きく寄与したことは高く評価できる。

さらに、令和6年度から開催された「昭和夏まつり」は9～10日間通して盆踊りを開催する挑戦的な取組であった。

また、ボランティアグループ「うえるっちゃ!花壇」の活動サポートや障害者就労支援事業所との共同作業など、市民の社会参加を目的とした取組を定期的に開催するなど地域との連携、協働にも積極的に取り組んだ。

適正な管理運営に関する取組については、イベント開催時の事故発生を防ぐため、実施範囲の明確化や監視員を適正に配置するなど安全対策に努めた。

維持管理の作業については、労働安全衛生法を厳守のうえ、安全対策を着実に実施するとともに、利用者が安全・安心に公園を利用できるよう努めた。

シンボル公園としての適切な維持管理のほか、公園の賑わいを創出し、市民の憩いや身近なレクリエーションの場として、子どもから大人まで楽しめる公園利用の促進が図られた。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

収入増などの指定管理者の取組みを適切に評価している。

アンケートについては、幅広い層の意見をバランスよく収集できるよう実施のタイミングや手法等の改善を検討いただくとともに、要望のあった多言語対応についても、引き続き強化していただくよう期待する。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)